

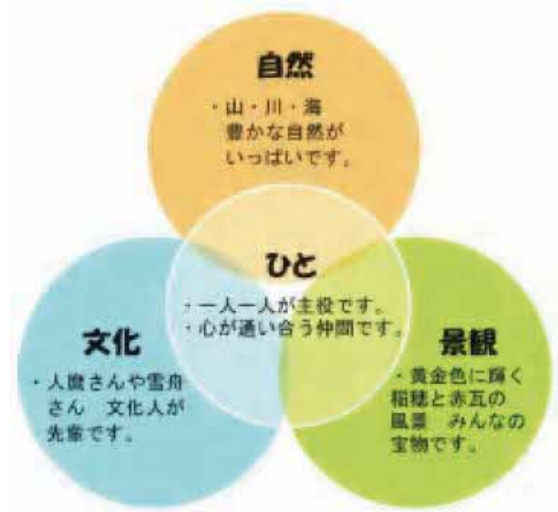
# 都市マスタープランの見直し方針

## 現行都市マス（H24.3）

【基本理念】 **自然・文化・景観を育み**  
**のびやかに人が輝く都市 益田**

### 【基本方針】

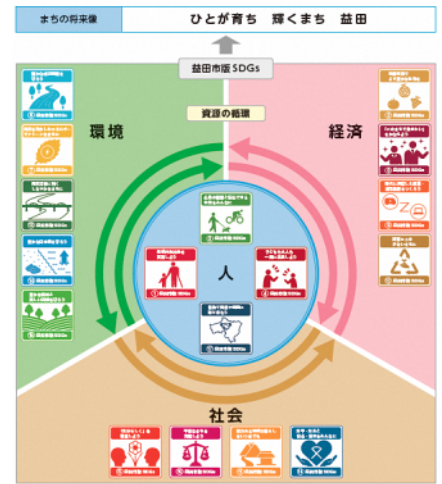
- 市町合併を契機とした一体的なまちづくり
- 新たな時代に対応した持続可能なまちづくり
- 資源を活かしたまちづくり
- 市民との協働によるまちづくり



## 益田市総合振興計画（R3.3）

【まちの将来像】 **ひとが育ち 輝くまち 益田**  
(益田市の将来を担う「ひとづくり」に注力)

【目標達成に向けたアプローチ】  
「益田市版SDGs」の各ゴールを達成すること  
で、今ある資源を活かしながら、**人・環境・経  
済・社会の好循環**を生み出す



## 改訂都市マス（R4～5年度に作成） → 概ね10年後を目標

**ひとが育ち・輝くために**、**どういう土地利用**（大切にするもの）や**都市施設を整えるか**

# 見直しに向けたポイント

## ①「人づくり」を基軸とする

## ②SDGs の概念を大切にする（平等・環境・持続）

- ・人（貧困、健康・福祉、教育、市民協働）
- ・社会（性差、平等、平和・公正、魅力ある地域）
- ・経済（地産地消、雇用・産業、通信環境、資源ロス）
- ・環境（豊かな水辺、森林・農地・海・自然エネルギー、防災）

## ③社会変化に対応できる持続可能なまち（横断目標）

- ・次代を担う人材の育成・確保の推進
  - 「益田市ひとづくり協働構想」、関係人口の拡大推進
- ・協働のまちづくりの推進
  - 多様な主体による協働活動の推進
- ・先端技術を活用した持続可能なまちづくりの推進
  - 先端技術の活用による将来にわたって暮らしやすいまちづくり

# 【基本理念（案）】のキーワード

## 「人づくり・人材確保」

（益田のまちづくりの注力点）

## 「自然・環境」

（高津川・清流、山、海、田園、農林漁業など）

## 「歴史・文化」

（中世のまち、人麻呂、雪舟、伝統文化など）

## 「安全・安心」

（防災、医療・福祉、産業、雇用、住宅など）

前回と大きくは変わらないが、景観は自然・環境や歴史・文化に含め、4つ目のキーワードとして、「安全・安心」を加える

# 【現行都市マスのまちづくり方針】

## 1. 市町合併を契機とした一体的なまちづくり

- 都市拠点（中心市街地）と地域拠点の形成と連携
- 市内地域間を連絡し、その一体性を支える幹線道路ネットワークの構築
- 市街地と農村との様々な連携を考慮した都市基盤の構築
- 周辺都市を含めた広域連携による効率的な都市運営

## 2. 新たな時代に対応した持続可能なまちづくり

- 無秩序な市街地拡大の抑制と長期的視点に立った計画的な土地利用
- 時代のニーズに応じた市街地の形成
- 生活利便性や交流機会の向上のために必要な都市施設の整備
- 優先順位の高いものから着手する計画的な都市計画施策の展開

## 3. 資源を活かしたまちづくり

- 市民がまちに愛着を持ち続けていけるような地域資源の活用・保全
- 地域資源を活用した観光振興等、交流人口の拡大を支援する都市基盤の整備

## 4. 市民との協働によるまちづくり

- まちづくり活動・組織の交流・連携・強化
- 市民が主体となったまちづくり活動の実践に向けた行政支援の充実
- 都市計画に関する市民の意識啓発「人づくり・人材確保」（益田のまちづくりの注力点）